



網代漁港で小学生から激励の花束を受け取る各船長



網代港の初競りと大量に水揚げされた白ハタ

がんばるお父さん おじいちゃんへメッセージ

僕のお父さんは船長なので、夜も仕事をがんばっていて、すごいなあと思います。5日くら



岩美西小学校
6年生
あしまさな
生越雅貴君

いしたら、帰ってくるけど、またすぐ行きます。ほとんど寝ていなくて仕事に励んでいるからすごいです。

お父さん、みんなが応援しているからがんばってね。

僕のおじいちゃんは、1日に魚を何千匹、かにを何十匹とってすごいと思います。朝4時に家を出るときは僕も起きておじ



岩美北小学校
3年生
やましたゆうと
山下優斗君

いちゃんが車に乗るところまで送りに行きます。一週間くらい船に乗ります。それより、長く乗ることもあります。

おじいちゃん、体に気をつけて、おいしい魚をとってきてください。

原油高騰にも負けず、
お父さん、おじいちゃん頑張って！

沖合底びき網漁始まる 出港祭開催!!



田後港で出港を見送られる沖合底びき船

底びき網漁は、9月1日（月）から始まり、11月6日（木）の松葉がに漁解禁を経て、来年5月末まで続けられます。
9月2日（火）には網代漁港に白ハタなど多くの水揚げがあり、市場が活気づいていました。

8月31日（日）、原油高騰など、環境が厳しい中、網代漁港と田後港では、地元のみなさんはもとより、網代では岩美西小学生の和太鼓演奏などによる出港祭が行われ、田後港では海洋少年団の手旗信号による激励を受けながら、次々と網代、田後各11隻の沖合底びき漁船が出港しました。

岩美の自然は豊かで身近なところにウミホタルがたくさんいるので、ぜひ見てください。ウミホタルが動く軌跡を見て、何かを感じていただけたらと思います。次回10月11日（土）に開催される同イベントは残念ながらキャンセル待ちが出る程の人気でお申し込みはしていただけないですが、興味がある方はいつでも採集の仕方等質問に応じますので、山陰海岸学習館に気軽においでください。



学芸員補
和田年史さん

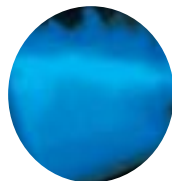
【問い合わせ先】山陰海岸学習館

☎73-1445

開館時間午前9時～午後5時（月曜日休館）
入場無料

ウミホタル採集と発光ショー開催

～ 山陰海岸学習館 ～
まるでエメラルドの宝石箱



刺激を与えるとこんなに青く光ります（採集したウミホタルは自然保護のため、また海に戻します）

岩美の海辺に青く光るものを見たことがありますか。それは、夜光虫とよく間違えられますが、実は6月から11月頃まで活発に活動するエビやカニの仲間の大きいものでも3ミリ程のウミホタルです。その採集と発光ショーが9月13日（土）山陰海岸学習館で、県内外から11家族約35名が参加し行われました。

山陰海岸学芸員補の和田年史さん、兵庫県新温泉町在住但馬の自然案内人の福原陽一郎さん及び同町在住漁師の宇野政美さんの指導のもと、ウミホタルを採集する仕掛けを作成した後、田後港に採集に出かけました。採集したウミホタルを山陰海岸学習館に持ち帰り、電気を消し、いよいよ発光ショーです。透明瓶に集められたウミホタルに冷やした海水をそそぐと、ウミホタルはその刺激で青い光を放ちました。そのキラキラとする姿はまるでエメラルドの宝石箱を開けたようで、参加者から、「おっ。」という歓声が上がりました。

参加者は「青く光っておもしろかった。岩美に住んでいるけど、知らなかった。」「海がそばにあるが、夜海に行くこともないので、楽しかった。」「たくさん採れた。こんなにきれいだとは思わなかった。」など満足した様子でした。

ウミホタルはほぼ全国各地でもいるようですが、砂地でおだやかな内湾にある港に多く生息しているそう、網代港や田後港は生息するには最も適しているとか。但馬の自然案内人の福原さんらが中心となり、夏休みシーズンに岩美の民宿とタイアップしてウミホタルを観光PRのひとつにしようとして働いているようです。それが実現すれば、またひとつ岩美の観光名所が新たに生まれるかもしれません。



採集してきたウミホタルを見つめる参加者



仕掛け完成